

千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会

福祉教育部会報

千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会長 関口美栄子
(千葉県立松戸向陽高等学校長)

昨年9月の調査で、国の高齢者人口の割合が25%を超え、今後の高齢化の進展により、介護を必要とする人の増加が予測され、介護サービスに関する専門的知識と技術を持った介護職者が必要とされています。千葉県においても、今後のさらなる高齢化率の上昇や少子化の進行により、一人暮らしの高齢者や、要介護認定者の急増等が予測され、保健・医療・福祉・介護を支える人材の確保や、お互いに支えあう体制・態勢づくり等が緊急かつ重大な課題となっています。

こうした中で、高等学校においても福祉教育の充実が求められており、介護福祉士の養成、介護職員初任者研修の修得をはじめ、様々な福祉教育の取組を行っている高等学校の研究組織である本部会は、県内の福祉教育の充実・発展にとって重要な役割を担っているといえます。現在、県内各福祉関連高等学校においては

○専門学科における介護福祉士の養成
○福祉関連学科やコースにおける将来福祉分野で活躍できる人材の育成

・高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護従事者としての気遣いや配慮、マナー等を学習する

○普通科における豊かな人間性の育成と福祉意識の醸成

・高等学校の様々な教育活動をとおり、高齢化が進む社会において、高齢者を思いやる気持ちやいたわる気持ち、互いに支え合う気持ち等を育てる 等

といった教育活動を行っています。

今後も、各校がお互いに連携し、共通な課題や福祉教育の在り方等について研究を行い、県内福祉教育の充実を図ることにより、福祉に対する理解者の拡大及び意識の向上に取り組んでいきます。

福祉教育の充実に向けて

教育庁教育振興部指導課
指導主事 大塚 真理子

県立松戸向陽高等学校の先生方には、福祉教育部会事務局並びに福祉教育拠点校として、福祉教育の推進に御尽力いただき、感謝申し上げます。

今後、介護従事者の需要増大が見込まれる一方、労働力人口が減少することから、介護人材の養成は急務の課題です。高等学校にも大きな期待が寄せられており、本県では、県立高等学校に新たに福祉コースを設置するなど、生徒の多様なニーズに対応するとともに、キャリア教育・職業教育の充実を図っているところです。

さて、現行の学習指導要領では、職業に関する各教科・科目に共通する改善の視点等として、将来のスペシャリストに必要な基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るとともに、職業観や規範意識、コミュニケーション能力などに根ざした実践力を高めるように指導することとしています。また、

専門教科「福祉」では、人としての尊厳の保持やプライバシーの尊重など、社会福祉関連の職業に従事する者として、利用者の立場に立った安全で確かなサービスの提供等を創造する能力と実践的な態度を育てることを重視しています。

これら豊かな人間性や社会性の育成に直結する方針は、本県の学校教育指導の指針に示す「思いやりのある『豊かな心』を育む」ことや「発達の段階に応じた『キャリア教育』を進める」ことなどにも通じています。

誰もが普通に生活を営み、差別されない社会の実現に向けて、福祉教育の裾野は広がっています。先生方におかれましても、福祉教育のプロとして、ますます御活躍いただき、本県の福祉教育がより充実することを期待しております。

福祉教育部会 総会

平成26年5月23日、福祉教育部会総会が、県立松戸向陽高等学校を会場に開催され、県指導課から大塚真理子指導主事に出席していただきました。

開会行事の後、議事に移り、次のような報告・提案がありました。

- ・平成25年度事業報告及び決算報告
- ・平成26年度事業計画（案）及び予算（案）

- ・新役員（案）
- ・産業教育フェアについて
- ・生徒交流会について

午後からは、県改革推進課の鈴木哲夫副主幹、鈴木栄次副主幹が出席してくださいました。社会福祉協議会中村様、田中様による講演「福祉分野への進路指導をする教員に求めたいこと」を拝聴し意見交換を行いました。

その後の普通科の福祉コース設置にむけての各校での取り組みについて紹介されました。

千高教研福祉教育部会は今後も、福祉教育の連携を推進する組織としての役割を果たしていきます。



★教育課程研究協議会（福祉）★

平成26年7月23日、松戸向陽高校を会場に、平成26年度教育課程研究協議会（福祉）が開催されました。会場校関口美栄子校長のあいさつに続き、県指導課大塚真理子指導主事による講話をいただきました。

- 学習指導要領の実施に当たっての留意事項について
- 日本の子供たちの現状について
- 今後の中央教育審議会の主な審議事項について

という内容でした。続いて松戸向陽高校清水弘恵教諭より

- 福祉を取り巻く状況
- 「介護」従事者の状況
- 高校を取り巻く状況
- 高校における福祉教育の状況

○福祉・人材確保等に係る施策動向
○福祉・介護の理解を進めるために
という内容で、文部科学省教科調査官矢幅先生による基礎資料を基に説明がありました。情報交換では、「介護職員初任者研修」の話題が中心となりました。また、午後からは山野美容専門学校から講師を招聘し「高齢者へのハンドマッサージ講習」を行いました。



「高校で福祉を学ぼう」

このリーフレットは、千葉県福祉・介護人材確保対策事業のひとつとして福祉教育部会が提案し、作成され県内の全中学校に配付しております

高齢者へのハンドマッサージ講習会

教育課程研究協議会の午後の日程としてハンドマッサージ講習会が松戸向陽高校の介護実習室で行われました。山野美容専門学校から3名の講師を招聘し、コミュニケーションツールのひとつとしてのハンドマッサージ講習を受けました。これまでほとんど体験したことのないマッサージについて戸惑いを感じながらも、和やかな雰囲気のもと実習を行いました。

また君津青葉高校、船橋豊富高校、松戸向陽高校から25名の生徒が参加し総勢40名での実習となりました。ある生徒は「やってもらったらとても気持ちがよく、この技術をしっかりと覚えたい」と感想に書いてありました。講師の先生方の経験をまじえた魅力的で、教員、生徒共に多くの学びを得ることができました。

今後、いろいろな場面でコミュニケーションのきっかけづくりとして、今回のハンドマッサージが活用できることとなります。我々教員も、より質の高い授業をするための貴重なヒントをいただくことができました。



【参加生徒の感想】

- ・自分の知らなかった知識を学ぶことができたのと、マッサージをしながらコミュニケーションの大切さを学ぶことができて、とても楽しかったです。強すぎずにマッサージをするのはとても難しかったです、「もっと深く知りたい。学びたい。」とも同時に思いました。美容福祉という存在を知ることができて良かったです。
- ・初めて誰かにマッサージするということをして、すごく楽しかったです。自分自身やってもらってすごく気持ち良かったので、同じ思いになる人が一人でも増えてくれるとうれしいと思います。楽しく、素晴らしい体験ができて良かったです。
- ・先輩がしてくださったハンドのマッサージがとても上手で気持ち良かったです。家に帰ったら、おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんにやってあげたいと思いました。

産業教育フェアが開催されました。

日時：平成26年10月11日（土）、12日（日）9：00～17：00
場所：イオンモール幕張新都心1階グランドスクエア、グランドコート

福祉教育部会もハンドマッサージ体験や福祉レクリエーション体験などのブースを出しました。多くの生徒、先生方に御参加いただき、ありがとうございました。

加盟校の取組① 千葉県立長狭高等学校

本校では、平成26年度の入学生から「医療・福祉コース」がスタートいたしました。地域の方や中学生にも評判で、この新しいコースに期待を寄せて入学した生徒も多数おります。火曜日を7限とし、週1時間1年生全員を対象に「生活と医療福祉」（学校設定科目）の授業も行われております。この科目は、「医療」と「福祉」分野の基礎を学ぶもので、1学期には「福祉」を、2学期には「医療」を中心に、地域の病院や大学の協力のもと、8～9回にわたり医療・福祉従事者による講義をしていただきます。介護、福祉、看護、医師、薬剤、技師など、多岐にわたる分野の実際に触れることで、今後の進路選択において非常に有為なものになると自負しております。

現在、平成27年度の2年生から本格的に始まる「医療・福祉コース」の準備を鋭意進めており、生徒のニーズに応える授業を第一に考え計画を立てています。地域の病院や福祉施設・大学と連携して、将来的に医療・福祉分野で活躍する人材を育てるため、「医療」系では、体験や実習、医療現場の講師による授業を展開します。加えて、理数科目を充実させたカリキュラムを組み、医療系への大学進学を目標に掲げます。「福祉」系では、10単位時間の長狭高校の福祉の授業を学ぶことで、卒業時には「介護職員初任者研修修了」の資格を取得できる教育課程を編成しました。

本校生徒の医療・福祉系への志望、進学率は高く、「医療・福祉コース」に進んだ生徒が夢や理想を現実のものとするために、これからも生徒を応援したいと思っております。



福祉用具



完成した福祉実習室



シーツ交換



トロミを使った嚥下体験



車椅子体験



電動ベッド体験

福祉教育部会
マスコットキャラクター
ふくぼん



発行：千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会

事務局：千葉県立松戸向陽高等学校

〒270-2223 松戸市秋山682

TEL 047-391-4361 FAX 047-391-8129